

Q3

狂犬病ワクチンの予防接種を受けています。その後狂犬病危険動物に咬まれても大丈夫ですか。

A

狂犬病ワクチンの添付文書には、曝露後免疫を受けた人が6カ月以内に再咬傷を受けた場合は処置の必要はない、6カ月以降再咬傷を受けた場合には曝露後免疫を行うとされています。また、厚生労働省の狂犬病に関するQ&Aでは、次のように示されています。「曝露前のワクチン接種を行っている場合であっても、イヌなどに咬まれて感染した可能性がある場合には、接種初日（0日）と3日後の2回接種をすることになります」

【参考】

WHOでは、ワクチンを受けた人が、再び咬まれた場合の基準を以下のように設けています。

曝露前免疫後

1年以内…咬まれた日（0日）に1回

2年以内…0日と3日の2回

3年前…0日，3日，7日の3回